

護衛艦と潜水艦の2隻を見学 ～「艦艇見学ツアー」を開催～

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1海佐）は、5月21日（日）、海上自衛隊横須賀地方総監部及び第2潜水隊群の協力を得て、広報センターイベント「艦艇見学ツアー」を実施した。

本イベントは、同地本広報センターの知名度の向上並びに自衛隊に対する親近感の醸成を目的に主催したもので、インターネット等の公募で選ばれた募集対象者19名が参加した。

当日は、青空澄みわたる絶好のイベント日和で、当初地本広報センターの展示品を見学したのち、マイクロバスで横須賀米海軍敷地内にある第2潜水隊群に移動し、潜水艦を見学した。参加者たちは、マンホールのような潜水艦のハッチに当初戸惑いの表情を見せる場面もあったが、艦内に下り発令所や居住区域などを案内されると、狭いながらも機能的な艦内の構造に、興味津々な様子で積極的に質問をしていた。

午後は、横須賀地方総監部に移動して、護衛艦「たかなみ」を見学した。参加者たちは、127mm砲を始めとする各種装備の説明に熱心に聞き入るとともに、艦橋では双眼鏡を覗いたり、艦長席に座らせてもらうなど、貴重な体験を楽しんでいる様子であった。

ツアー終了後、参加者からは、「護衛艦と潜水艦を2隻同時に見学でき、とても有意義な一日でした」「海上自衛隊への入隊を前向きに検討したい」などの声を聞くことができた。

神奈川地本は、「今後も、自衛隊をより身近な存在として感じてもらえるよう、自衛隊をPRするイベントを積極的に企画していく」としている。



護衛艦「たかなみ」の説明を聞く参加者たち



潜水艦の中部ハッチに戸惑う参加者



潜水艦の前で記念撮影をする参加者たち

東部方面混成団記念行事で募集広報

「29年度目標達成に向けて、一人でも多くの志願者情報を」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1海佐）は、5月28日（日）、武山駐屯地で実施された「東部方面混成団記念行事」で募集相談ブースを開設し、猛暑の中、募集課員及び各出張所等広報官による募集広報活動を実施した。

地本ブースでは、ちびっこ迷彩服や海上自衛隊制服の試着、災害派遣活動のパネル展示を通じて、地域住民等との交流を図った。特に、試着コーナーでは、多くの親子連れの行列ができ、来場者からは「可愛い」「格好いい」との声が聞かれるなど、大いに賑わった。また、災害派遣活動パネル（東日本大震災・熊本地震災害）では、「大変でしたね。頑張ってください」など慰労の言葉が多く聞かれた。

また、募集相談コーナーでは、一昨年入隊した神奈川県出身の女性自衛官が、熱心に女性の募集対象者に説明する一場面も見られた。

昨年度に比し、来場者が激減した中、暑さを吹き飛ばす熱意ある募集広報により多くの方々に自衛隊をPRすることができた。

神奈川地本は、「今後も、各種イベントに積極的に参加し、志願者の獲得と防衛基盤の拡充に努め目標達成にまい進していく」としている。



募集対象者に説明する広報官